

振り返って見ますと、あっと言う間の一年間でした。「今年の今頃は」と、事あるごとに思い出されます。皆さんに支えられて、これまで頑張りました。今年度もよろしくお願い致します。3月7日初日の3月議会も、3月23日に最終日を迎えました。この一年間、健やかな子供たちの成長を願って一般質問しましたが、今回も次の4点にわたって、3月13日一般質問に立ちました。

島の中学校統廃合問題に関して

2月、2度にわたって島へ渡り、島の人達と話をしてきました。多くの方が島に学校を残して島おこしをと、願っていること、経過をきちんと知らされていないことがわかりました。

同じような問題を他島では、小学校中学校を一つの学校のように併設する、生徒数に応じて休校開校する、島内で統合するなど解決しています。

そうした調査結果が、飛島を含めて、きちんと知らされていないこともわかりました。

こうした点を質問すると、島の人達に、調査内容を詳しく報告する。子供たちへ話し、その声を聞くのは校長判断であれば良い。との答弁でした。

4月より発足する海援隊が、島おこしの力を発揮するためにも、島に残っている数少ない本来の教育の姿、地域に支えられる教育を守り、島の人達と共に、島の活性化の一步を踏み出すことを願っています。



30人以下学級の実現をもとめて

教育問題が大きな社会問題となっているにも関わらず、学級定員は依然として40名のままですが、文部科学省の方針では、特定教科での少人数授業を可能としています。

笠岡市も7名の教員増員を予定しているとの答弁でした。差別につながる能力別編成などないよう、強く求めました。

又、30人以下学級の、早期実現の大切さを強く訴えました。

学童保育の充実に向けて

設置希望者が多くいるにも関わらず、場所の問題等で、ある地区はあきらめました。又市内4カ所ある学童保育所でも、設置までの障害や、働く親への負担には、大きいものがありました。現在、入所待ちの子供たちも、多くいます。こうした声を再度届けました。「担当部署の連携を強化し、先進例も研究の上、取り組む」との市長答弁でした。

1 3年度予算案 (本会議での質問)

3月14日、予算案を審議しました。

◎ 私は教育費について「昨年現地視察を行い、教育委員会へも要請した小学校のトイレの改修、ある小学校にまだ残っている煙突型ストーブを、安全なものに取り替えるための予算は？」と質問しました。

「トイレの改修については中央小、笠小を予定して予算化している。ストーブについては要望が出ていない。」との教育長の答弁でしたが、

「たとえ要望が出ていなくても煙突でやけどの事実がある。調査に行くべき」と再度質問に立つと、

「調査に行く」と約束されました。一日も早く、子供たちの安全の為に、ストーブの取り替え予算を組むよう、今後も働きかけていきます。

◎ 又、アグリスーツ公園整備事業費について、「昨年末県は事業凍結解除を打ち出したものの、今年度中に見直し検討するというもので、まだ県の事業の青写真さえできていない段階。」

公立私立高校生以上の生徒のために奨学金制度の新設を

昨年12月「私学助成をすすめる会」が、同主旨の市長陳情をしました。生徒達の就学実態をつぶさに説明されたそうです。

民間奨学金制度は、利子運用も困難で募集もできないのが実態。ぜひ実現をと質問しました。市として何とか考えたいとの答弁でした。

市のみ事業先行するのはおかしい。低くおさえたとは言っても、建物だけで20億円。300億円の借金を抱える笠岡市が、たとえ市民要求はあるとは言え、今やるべきでない」と質問。「15年のプレ国体を照準にあわせているらしいが、県内には国体会場返上の町村もある。思い切って返上してはどうか。どうしてもやるのなら、県負担を要請すべき。」と再質問。しかしあくまでも市独自の事業(県事業の中に、市独自の事業などありえない)とするとの答弁でした。

再質問の中で、年次計画を立て、例えば図書館、生涯学習教室などのある、文化スポーツ公園にしていくなど、施策の転換も提案致しました。

しかし「目的外使用はできない。」ということでした。

(民生水道委員会での質問)

3月15日、民生水道に関する予算に関する審議をしました。

◎ 体の不自由な方が利用される福祉タクシー運行について、運転手の方が不利益にならないよう改善を求めました。会社への要請を約束されました。

乳幼児医療費窓口無料化6歳未満の対象年齢を就学前までにさらに引き上げられないかと質問しました。

「年齢の区切りとしては理解できるが、時期尚早である」との答弁でした。今後とも引き続き頑張ります。

家電リサイクル法施行に伴い、消費者、中小小売業者に負担がかからないよう、メーカーの責任を求める、国への意見書採択を求めました。

提案者以外全員の反対で不採決となりました。

本会議でも常任委員会でも

1. 住民票など各種手数料、使用料に、消費税をかけている。
2. 大型公共事業費が市民生活を圧迫する等の理由で、予算の見直しを要求し、13年度予算案に反対いたしました。

あしあと

二島へわたり、声を聞きました二

2月中旬2度にわたり、飛鳥、白石島、真鍋島へ渡って、島の声を書きました。「島に中学校を残して欲しい。無くなれば島はさびれる」「あなたの言うとおりに、わしらもそう思うとる」「本当は反対なんじゃけど決められてしもうとる」等の声を寄せてもらいました。

「皆さんと一緒に頑張ります」と、島をあとにしました。

二2年連続全国チャンピオン誕生二

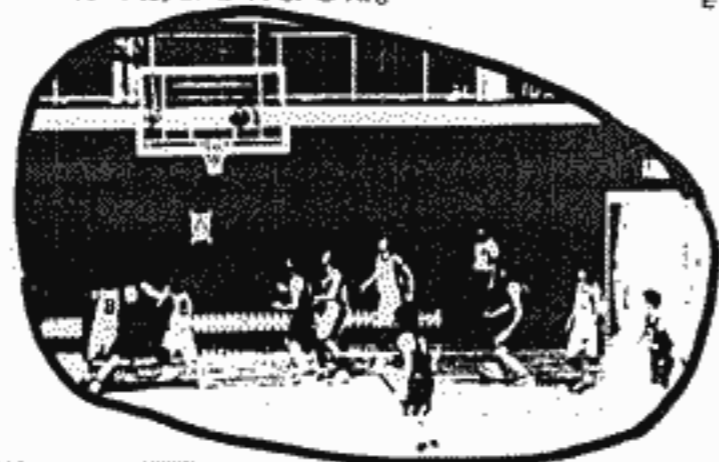
3月26、27日空手道、春の全国選抜大会（大阪）に出場した山陽高校空手部の応援に行きました。

男子団体型3位、昨年の本村君に続き、個人組手で大木君が優勝。燃えました。卒業生にも会え、楽しい一時でもありました。

二青春まっただなか二

4月7日、バスケットボール県大会予選の応援に、玉島高校へ行ってきました。

ゴール目指してドリブル！シュート！新見高校に破れはしたものの、さわやかな子供たちの顔、精一杯頑張った姿に、自分も励まされました。



二卒業おめでとうございます二

金浦幼少中学校、新川保育園での卒業式に出席。小学校、幼稚園、保育園で祝辞を述べさせていただきました。それぞれの新しい門出をお祝いし、子供たちの明るい未来を祈りました。



(新川保育園のお別れ会)

◎ ありがとうございます ◎

◎ 金浦中学校前、川沿いの道路端、排水ふたが無くなっていた危険箇所、即日対応していただきました。補作に必要なければ埋めることも検討とのことでした。

◎ 舗装道路の穴ぼこ、生江浜、吉浜、金小の水門付近3カ所にありましたが、翌日直していただきました。



(大阪大会)

◎ 市内保育園前の駐車場、「県道に出にくいし、危険でもある。」との声があり、警察交通課のご協力もいただき、カーブミラーを設置していただきました。

◎ 金浦から吉浜東水門に向かう通学路、山肌が風化して、雨風の強い日には岩や土砂の落下が見られます。

以前から要請していましたが、観音堂付近修繕に続き、墓地北斜面についても修繕されることになりました。

☆ わが家の出来事 ☆

◎ 息子が大学を卒業、東京の専門学校に行きました。

◎ 孫が小学校に入学しました。



夫からの一言
妻を議会に送り出していただき、一年が過ぎました。まだまだ未熟ですが、皆様の期待に応えられるよう、頑張る決意でおりますので、今後ともよろしくご支援、ご指導お願い致します。

(山陽高校教諭 林 周明)



かずらでへびの置物

笠岡愛きょう振りまく



緑井さん夫妻が作ったへびの置物

トピックス

◎ 昨年暮れ、近所の方がカズラで編んだ蛇、新聞にも載って話題となりました。

笠岡市は、毎年お盆の時期、お盆の飾りとして、カズラで編んだ蛇の置物を作ります。お盆の飾りとして、カズラで編んだ蛇の置物を作ります。お盆の飾りとして、カズラで編んだ蛇の置物を作ります。